

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公開番号】特開2014-171441(P2014-171441A)

【公開日】平成26年9月22日(2014.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-051

【出願番号】特願2013-47508(P2013-47508)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/96 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/02

A 6 1 Q 19/08

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/96

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月24日(2016.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表皮細胞に側面方向から圧力負荷を加える工程を含み、該表皮細胞が放出する炎症性因子の活性を指標として、シワ形成抑制剤及び／又は抗炎症剤をスクリーニングする方法。

【請求項 2】

前記炎症性因子の活性が、炎症性因子を構成するタンパク質をコードする遺伝子の発現量であり、

被検物質を添加した細胞における前記遺伝子の発現量が、被検物質を添加しなかった細胞における該遺伝子の発現量と比較して小さい場合に、前記被検物質はシワ形成を抑制する作用及び／又は抗炎症作用を有すると判定する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記被検物質を添加した細胞における前記遺伝子の発現量が、被検物質を添加しなかった細胞における前記遺伝子の発現量の 90% 以下である場合に、前記被検物質はシワ形成を抑制する作用及び／又は抗炎症作用を有すると判定する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記炎症性因子が、LTB、IL16、IL23A、CSF2、CXCL1、CXCL5、IL24、SPP1、IL1α、IL8、TNFα及びVEGFAから選択される、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれか一項に記載の方法によりシワ形成抑制剤をスクリーニングする工程、及び前記工程によりシワ形成を抑制する作用を有すると判定された物質を含有させ

る工程を含む、組成物の設計方法。

【請求項 6】

前記組成物が皮膚外用剤である、請求項 5 に記載の設計方法。

【請求項 7】

前記組成物が化粧品（ただし、医薬部外品を含む）である、請求項 5 又は 6 に記載の設計方法。

【請求項 8】

前記組成物がシワ形成抑制用である、請求項 5 ～ 7 のいずれか一項に記載の設計方法。